

## 原発は外して 宮城県南三陸町長

4日、震災復興会議 委員が宮城県で被災自治体の首長さんたちと意見交換をしたことが報道されました。宮城県 南三陸町長は意見交換終了後に「構想会議の議論から原発問題は外した方がいい。復興に向けて議論している我々とはかみ合わない」と述べたそうです。また、会議の委員でもある村井 宮城県知事は「規制緩和などを一つ一つ構想会議で議論していたら時間が足りない」とし、個別事案は下部組織の「検討部会」で対応するよう求めたということです。（規制緩和は何を指すかは不明）

これでは、私たちが心配し「とうにうん」第28号で訴えた「国」と「国民」が被災者と被災地を 犠牲 にする事態になりかねません。

五百旗頭 議長が防衛大学校長であることはすでに報道されているとおりです。そして、福島第一原発については、今も危機管理的な状況にある、として、復興ビジョンの対象から外す考えを持っていることも知られています。私たちは、この様な復興会議の動向が、脱原発の動きから目を遠ざけ、規制しようという思惑ではないかと考えましたが、この考えには、参加委員から異論が出たそうで、少しはホッとしていました。が、この様ななかでの意見交換とその後の、二人の発言です。

宮城県の隣は福島県ですが、これでは被災地と被災地の間に「対立」をつくることになり、復興を遠のけ、そして、脱原発を排除してしまいます。もっとしっかり事実を見て声を出しましょう。

### ここにも注目を！ 自民党の「原発推進」の動きに

村井 県知事は、防衛大学を出た、元自衛官です。どの様な大学を出ているのか、どの様な活動をされていたのかは関係ませんが、五百旗頭 議長との関係が気になります。

五百旗頭 議長は、原発を推進してきた自民党の何人かの首相と関係が強い人で、もう一つ気になることがあります。自民党議員が原発推進のための「エネルギー政策合同会議」を発足させたようです。その会議の「参与」に、現東電顧問で元参議院議員の加納時男氏がついています。